

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3198082号
(U3198082)

(45) 発行日 平成27年6月18日 (2015. 6. 18)

(24) 登録日 平成27年5月27日 (2015. 5. 27)

(51) Int.Cl.

A 4 3 C 15/00 (2006.01)

F 1

A 4 3 C 15/00

A

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2014-6920 (U2014-6920)
(22) 出願日 平成26年12月15日 (2014. 12. 15)

(73) 実用新案権者 508360822

佐藤 貞夫

山形県山形市江南1丁目7-8

(72) 考案者 佐藤 貞夫

山形県山形市江南一丁目7-8

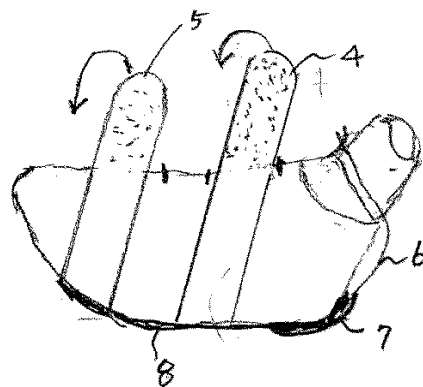
(54) 【考案の名称】靴用滑り止部材

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】雪道や凍結した路上で滑って転ぶ事故や怪我を防止する為の靴用滑り止めヘチマシートを提供する。

【解決手段】紳士靴、婦人靴、子供靴、スノーシューズの履物から選択される靴本体の靴底に当接する様に所定の位置に面ファスナー4、5及び／又はベルト状の紐により着脱可能に装着する滑り止めシートであって、該シートはスポンジ状に加工したヘチマをシート状に形成した事の特徴とする。

【選択図】図2



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

紳士靴、婦人靴、子供靴及びトレナー靴から選択される靴本体の靴底本体にヘチマをシート状に形成した滑り止め部材を設け雪道や凍結した路で滑って転んで事故や怪我など防止の為に靴用滑り止め部材

【請求項 2】

ヘチマをシート状に加工して靴底に装着する事で、より滑り止めとした請求項 1 記載の靴用滑り止め部材は靴から外れない様に、一番路面接着するところから靴のかかとまで装着する様にした又は靴用滑り止め部材

【考案の詳細な説明】**【技術分野】**

靴が雪道や凍結でも滑らないための靴用滑り止部材に関する

【背景技術】

一般的に市販されている靴底に加工した波状または、丸状の靴底の構造は 2 重～3 重の滑り形状であるが滑って転んで怪我などおこして実用的でない

【考案が解決しようとする課題】

この考案はヘチマをスポンジ状に加工した物をシート状に形成し、これを紳士靴 婦人靴 子供靴等履物の靴底に対して面ファスナーを利用して 2 ケ所で止め、靴の履物から外れないように取り付ける事ができる様にした 靴用滑り止部材とする

【考案が解決するための手段】

靴底の滑り止を靴に対して面ファスナーで止め、靴のかかとの方は、滑り止を足首に一回りだけのベルト状が紐で固定する様にした靴用滑り止部材

【考案の効果】

ヘチマは植物繊維であり、ある程度砕いて靴底に貼り付け滑り止部材とすれば、もっと効果的である

この考案はヘチマをスポンジ状に加工した物をシート状に形成し、これを紳士靴、婦人靴、子供靴等の履物の靴に対し面ファスナーを利用して、2 ケ所で止め靴から外れない様にした靴用滑り止め部材とした

また、必要でない時は、簡単に履物から取り外しカバンやバックに入れてコンパクトに持ち運びできる、

【図面の簡単な説明】

【図 1】第一の実施形態の滑り止め防止部材を示す底面図

【図 2】第一の実施形態の滑り止め防止部材の装着状態を示す斜面図

【図 3】第二の実施形態の滑り止め防止部材の装着状態を示す側面図

【図 4】第二の実施形態の滑り止め防止部材の装着状態を示す平面図

【図 5】第一の実施形態の滑り止め防止の部材装着する面ファスナーを示す略図

【図 6】第二の実施形態の滑り止め部材を装着する面ファスナーを示す

【図 7】第三の実施形態の滑り止め防止部材を設けた靴を示す (A) 底面図 (B) 平面図

【考案を実施する為の形態】

靴本体としての紳士靴、婦人靴、子供靴等、履物すべて靴底にヘチマを滑り止めとして使用し雪道や凍結した路上で滑って事故や怪我などを防止する靴底が、材料がヘチマなのでクッションにもなり足の関節痛や筋肉痛の防止となる

【実施例】

図 1 男子用皮靴の裏面を示している図 1 の中の 1 つはかかとの部分の裏側を示したもの、かかとの部分に本考案の滑り止めを設定した状態を示す、かかと以外にもつま先部分や土ふまず部分にも同様に滑り止めを設定してある

男子靴の滑り止めのつま先寸法は 横長さ 10 cm～11 cm 幅 2.5 cm かかとの長さ 9 cm 幅 8.5 cm とすることが出来る

図 2 男子靴の側面から靴の本体滑り止めの位置 6 の紐で足首に固定され滑り止めが、外

10

20

30

40

50

れない様に防止した状態を示している

図 3 2 に示すように婦人靴も同図 6 の男子靴と A, B 面ファスナー自在と固定する事が出来る

図 4 2 に示す様に婦人靴底に滑り止めを上側で面ファスナーで止める図 3 と紐で足首に巻きつけて止める事が出来る

図 5 A に示す様に面ファスナーの靴の表側に取り付ける事が出来る

B に示す様に面ファスナーの靴底に滑り止めとして取り付ける事ができる

図 6 2 に示す様に図 5、A、B 同じですする事が出来る

図 7 2 に示す様に冬のスノーシューズの靴で男子、女子、子供用靴底全体にヘチマを滑り止めとして装着する事もできる

10

この滑り止め防止部材はヘチマ繊維を粉碎して粒状加工してこれを麻等の丈夫な布に接着剤等で貼り付けた上で適所に面ファスナーを設けて形成する事ができる

【符号の説明】

図 1 1、かかとの部分

2、土ふまず部分

3、路面接触部分

図 2 4、面ファスナー

5、面ファスナー

6、かかと部分を固定する紐

7、かかと部分の滑り止め

20

8、路面接触部分

図 3 9、婦人用ハイヒール

図 4 10、本体

図 5 11、面ファスナー A

12、面ファスナー B

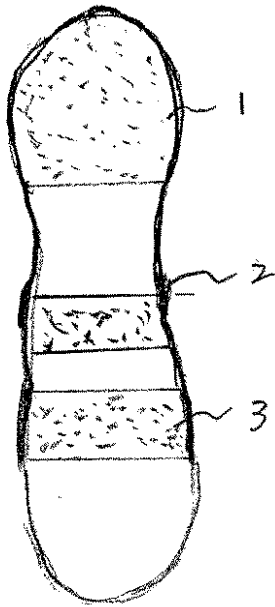
図 6 13、面ファスナー A

14、面ファスナー B

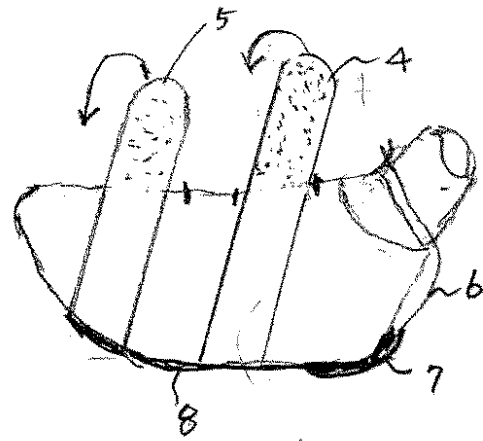
図 7 15、トレナー靴底 (a)

16、本体 (b)

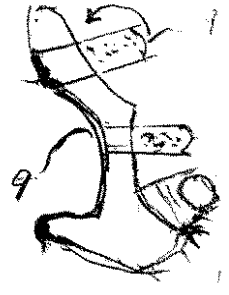
【図 1】



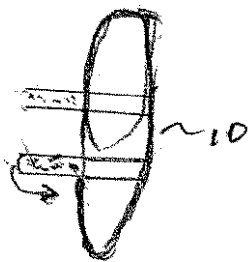
【図 2】



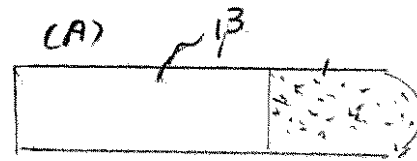
【図 3】



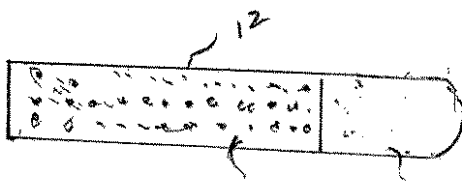
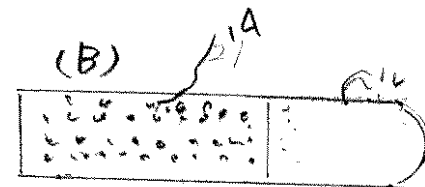
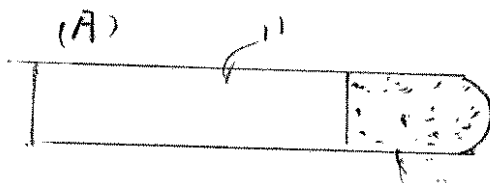
【図 4】



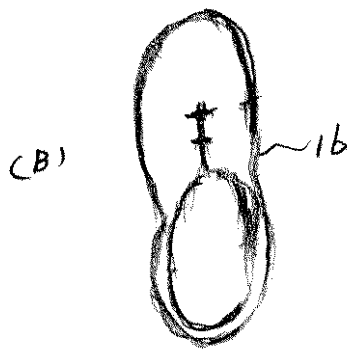
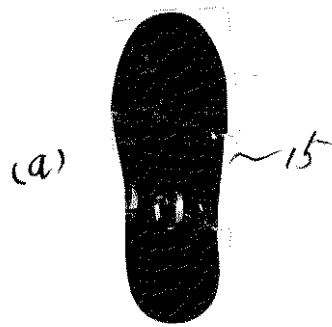
【図 6】



【図 5】



【図 7】



【手続補正書】

【提出日】平成27年3月18日(2015.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

紳士靴、婦人靴、子供靴、スノーシューズの履物から選択される靴本体の靴底に当接する様に所定の位置に面ファスナー及び／又はベルト状の紐により着脱可能に装着する滑り止めシートであって、該シートはスポンジ状に加工したヘチマをシート状に形成した事を特徴とするヘチマシート。